



Ideas for Peace Program

平和の新しい伝え方を応援します

現在も核兵器は13,000発以上存在しています。

核兵器は決して過去の問題ではなく、現在の問題です。

被爆者が高齢化する中、ただ過去を伝えるだけではなく、新しい発想が必要です。

例えば、被爆して溶けた瓶を3Dスキャンで花瓶にすること。

長崎とNYをつなぎ、様々な立場の人が一緒に平和を考える機会をつくること。

プロカメラマンから技術を教わりながら被爆者への取材を行うこと。

そんな、平和をもっと身近に感じられる、興味を持てる伝え方を応援します。

あなたも一歩を踏み出してみませんか。



2021年度選定事業

Facebook

Twitter



33件の応募があり、5件の事業が選定されました。
活動の詳細については、SNSに投稿しています。

アナウンサーサポートによる長崎インプット⇒ 福岡アウトプット高校生平和発信プログラム



長崎の学生が福岡の学生に被爆の実相を伝え、福岡の学生が自校の生徒に発信。その模様をラジオで放送。

実施団体：アナサポ平和発信実行委員会

被爆者のいまを伝えよう！フォトグラファー体験



写真の講習を入口に、若者が被爆者に取材を行い、その生き方に触れる。写真作品を制作後、作品展を開催。

実施団体：Studio One Nagasaki

長崎ホープツーリズム関連プロジェクト



SNSを活用し、被爆体験を漫画で発信。日常で感じる平和な瞬間の写真展を開催。気軽に平和について話せるピーススポットづくりの3つの事業を行う。

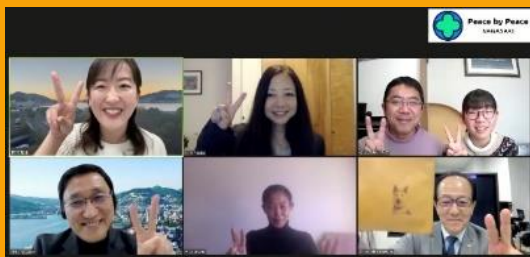
実施団体：長崎ホープツーリズム

Vase to Pray Project webサイト海外向け翻訳



3D技術を用い、被爆して変形した瓶を波佐見焼で再現した「祈りの花瓶」を海外に広げるため、webサイトの英語版を作成。

実施団体：Vase to Pray Project



ピーストーク from ナガサキ&ニューヨーク

長崎とニューヨークをオンラインで結び、専門家や市民などさまざまな視点から平和を考えるオンラインイベントを開催。

実施団体：Peace by Peace NAGASAKI

Q1 どんな事業が対象？

A1 新たな発想で、時代に応じた平和の新しい伝え方に取り組む事業

※いずれも、自ら企画・運営し実施するもので、後に広くアイデアや成果物を活用できる事業が対象。
※取り扱う平和についてのテーマの中には「被爆の実相」「核兵器廃絶」「核兵器禁止条約」のいずれかをキーワードとして含むこと。
※専門的な知識がなくても、長崎市がサポートしますのでご安心ください。

Q2 補助の内容は？

A2 補助上限額 1件あたり20万円
補助率 10/10

Q3 実施期間は？

A3 交付決定日～令和5年3月31日
※審査決定の通知は令和4年6月上旬を予定しています。

Q4 応募方法は？

A4 長崎市平和推進課(長崎原爆資料館内)に設置、またはHPに掲載している募集要項に記載の必要書類を揃え、平和推進課へ持参または郵送してください。
※提出時に簡単な聞き取りがあります。

Q5 応募期限は？

A5 令和4年5月20日(金) 17:30【必着】
※申請書の記載漏れの有無の確認のため、4月13日(水)から5月13日(金)の間に事前相談を行ってください。
なお、本補助金制度の問い合わせは随時受け付けています。